

## 祝 辞



# 協会広報誌の創刊に敬意

那覇市長 親泊康晴

沖縄県設備設計事務所協会の広報誌『建築設備』の創刊にあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

貴協会は、建築設備技術の発展と社会的地位向上を目的に昭和58年に創立され今日に至るまで15年にわたり、建築設備の発展に重要な役割を担うと共に、若手技術者の育成に並々ならぬ努力をなされ、快適な生活環境づくりに貢献されたことに対して衷心より敬意を表する次第であります。

また、設立当時数社であった会員数も年々増加の一途をたどり、現在では正会員40社を擁するに至り、名実共に建築設備業界のリーダー役としての重責を果たされていることは、誠にご同慶にたえないところであります。

那覇市におきましては、第2次総合計画が平成10年3月に終了しましたが、天久新都心の中環状線の開通やパレット久茂地及び安謝団地の建替、モノレール事業の着手等多くの成果が得られ、市民の生活の向上に大きく貢献できたものと確信しております。引き続き平成10年は、21世紀初頭に至る向こう10年間を期間とした第3次総合計画がスタートします。平和都市の創造、生活・文化都市の実現、国際交易都市の形成と3つの理念を基に、豊かな市民生活を目指し、今後この具体的な施策を着実に達成するよう市民と協働によるまちづくりに全力をあげて取り組んでいきたいと思っております。

21世紀まであと2年、時代は大方の予想をはるかに超える勢いで変化しています。金融のビッグバンや経済の自由化がおとずれ、社会を取り巻く経済の環境にも厳しさが増してまいりますが、会員の皆様が団結し困難を乗り越えられると確信しております。また、このような社会状況のなかで貴協会の広報誌「建築設備」を創刊されることは、誠に時宜を得たものでありまして高く評価されるとともに、貴協会のご発展に大きく寄与すると確信しております。またこれを契機に、会員相互の情報交換や親睦をはかり、連携を密にすることにより、組織活動を充実強化され、これからのまちづくりの一助となることを期待するものであります。

終わりに、会報の紙面の充実と関係各位の一層のご活躍並びに会員の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉と致します。

